令和6年度 第8回いちき串木野の歌人 萬造寺斉顕彰



萬造寺斉顕彰の歌碑 (羽島崎神社境内)

- 主 催 羽島史跡顕彰会・いちき串木野市・いちき串木野市教育委員会
- 主 管 黎明の地ふるさと短歌大会実行委員会
- 後 援 鹿児島県・鹿児島県教育委員会・県文化協会・県歌人協会 市文化協会・南日本新聞社・れいめい羽島協議会



表紙題字 堂元一静 氏(書道家:いちき串木野市出身) 〔主な経歴〕

2003 世界水フォーラム動書大賞受賞

2005 日本書道美術院展かなの部 全日本書道連盟賞受賞

その他数々の賞を受賞し、多くの個展を開催している。

目次

応募校一覧	留学生の部	一般の部	高校生の部	中学生の部	小学生の部	大賞および各部の最優秀賞	黎明の地ふるさと短歌大会の概要	選	黎明の地ふるさと短歌大会作品集の刊行にあたって
								- 審査委員長 鶴田	いちき串木野市長
50	48	42	31	21	11	8	5	直樹 (歌人)2	中屋 謙治1

令和六年度いちき串木野の歌人 萬造寺斉顕彰

第八 口 黎 朔 \hat{O} 地ふるさと短歌大会作品 集 \mathcal{O} 刊 行 にあたって

いちき串木野市長 中屋 謙治

郷 く市 方々が中心となって、 歌を歌う「墓前 11 さて、本市では、 ちき串 0 推 木野市 進に取り組んでいます。 心豊かでたくましい人づくり」を基本目標に掲げ、さまざまな事業を展開してきております。 祭」を毎年実施されており、平成二十九年には先生の没後六十年を迎えるにあたり、 は、 羽島出身の歌人「萬造寺斉」先生を顕彰するため、地域の方々が、七月九日の命日に先生の 小説 めざす将来都 「緑の 国 また、 へ」を出版。 市像を「ひとが輝き 文化の薫る 世界に拓かれたまち」と掲げ、 教育委員会では、活力ある教育・文化の また、 歌人・ 萬造寺斉の望郷歌集の小冊子を発行されるなど、 振興を図るべく、「ふるさとを愛し 人が 羽島史跡 輝 き、 顕 墓 継 地 彰会の 続 前 域 で望 が 輝

黎明の地ふるさと短歌大会実行委員会の皆さんをはじめ県歌人協会の先生方、本大会への応募に関わっていただいた多く の皆さまのご尽力の賜物と存じます。 年を重ねるにつれて県内だけでなく、本市にゆかりのある県外の方からの応募も増えてきています。これもひとえに、 とい たしましても、地域と一緒になって萬造寺斉先生を顕彰するために、今回で八回 目の短歌大会を実施い たしまし

顕

彰活動に尽力されております。

品 集刊 月十九日には 集まった作品 行 \mathcal{O} 運 びとなったところであります。 は、 羽島交流センターにおいて、 県歌人協会のご協力の下、 大賞他三十二作品の授賞式を執り行い、この度、 厳正なる審査を行い、 大賞をはじめ多くの優秀作品 優秀作品等を掲載した作 が選出されました。

-数百年 短歌 はその時 来の伝統的文化 刊行にあたってのあ Þ 0 世相 である短歌にこれまで以上に親しむきっかけとなり を反映しながら、脈々と創 いさつとい たします。 作 が続けられてきた日本古来のものであります。 ひいては、 文化の振興につながっていくこ 本 市 0 短歌大会が、

審查委員長 (鹿児島県歌人協会会長) 鶴田 直 樹

. ちき 串 木野 市羽島 |出身の歌人萬造寺斉没後六○年を顕彰し始まった黎明の地ふるさと短歌大会が第八回を迎えました。

お寄せ下さった皆様、 ありがとうございます。

今 回

は

表彰式を生誕

|地羽島で行えることを大変うれしく思います。

今回は三千八百二十七首の歌が寄せられました。

作品

さとことばすすきをなびけ吹く風に羽島 [の海の香こそ拡がれ

萬造寺斉が生涯愛したこの地に、 短歌が根を張りみずみずしい梢を広げています。羽島の地には大賞作品の歌碑が建てら

れ、 この地を訪れる人の心に刻まれています。 顕彰会の皆様、 地域の皆様に深く感謝いたします。 今回も熱い議論 の選考会

を行いました。

そして第八回 [黎明の地ふるさと短歌大会大賞の栄誉に輝いたのは、 いちき串木野市の猪之鼻浩二さんの歌です。

ってみろ父は南洋マグロ船メールが届き一歩を決める

いく ちき串木野市の短歌大会にふさわしい歌が選ばれました。 初句の「やってみろ」という口語もお父様のお人柄を表し、

道を進んだとしても必ず苦しい日もあり、そんな日にも力となる父の言葉です。男性の少ない短歌界に才能ある男性歌人の 人生の決断に背中を押す言葉となりました。選考会では、父と同じ道を選んだのか他の職業かと想像が膨らみました。どの

誕生を大歓迎します。

次に各部門最優秀賞の歌を紹介します。

小学生の部 最優秀賞

わおもくふきあげはまでのじびきあみしずむ足にも力をいれ る

いちき串木野市立川上小学校四年 藤井

で引っ張った。 縄が重い地引網は大漁だったのでしょう。 下句の発見が光る歌です。「ふきあげはまの」としたら調べも整いました。 力いっぱい引っ張ると足が砂に沈んでしまった。それでも足に力を入れて全身

中学生の部 最優秀賞

夏空に奏でる音色響かせて思いを音におりる指揮棒

伊佐市立大口中央中学校二年 西 よしの

吹奏楽部の練習風景でしょうか。音が夏空に響く広がりと、指揮棒に集中する視点の変化が生きています。音色が風に乗 素晴らしい演奏が聞こえてくるようです。

高校生の部 最優秀賞 り響いてくるような、

今行くよ鳴く子牛へと走ってくミルクのぬくもり大事に抱え

県立市来農芸高等学校三年 吉野 由ゅ桜ら

母牛のミルクのぬくもりが消えないように子牛へ走ってゆく。牛への愛情が伝わる市来農芸高校の生徒さんならではの歌 初句の呼びかけも良いですね。 一首にスピード感が生まれました。

般の部 最優秀賞

です。

卒寿までキッチンに立てる喜びをロールキャベツのさ緑に巻く

霧島市 四元 幸子

に若々しいみずみずしさを生みました。 常 の些事の喜びを巧みな表現で歌っています。 熱を通し冴えた緑となったキャベツ。 卒寿の歌でありながら、 結句が歌

留学生の部

空気のようだった自由がなくなって息ができない香港に栄光あ

神村学園専修学校理学療法学科一年 CHIN CELIA S (香港)

スリランカ国旗はためく母の愛家族の平和思い出す夏

神村学園専修学校日本語学科二年 KODIKARA ARACHCHILAGE DILKI ディルキ PUNYAJA(スリランカ)

夏休み赤い花咲く校庭でノートに貼ったらちょうちょになった

神村学園専修学校日本語学科二年 DO THIEN THANH(ベトナム)

夕飯に父も手伝う母のカレーまだかなまだかな匂いを食べる

神村学園専修学校日本語学科二年 NAW MI MI ZAW(ミャンマー)

自由」に胸が痛みます。空気がなくなれば息ができなくなりますからね。どの国にもあり得ることで、普遍性のある歌です。 多国籍の留学生の歌。それぞれのお国柄が現れています。特に雨傘革命で自由を守ろうとした香港。「空気のようだった

方平和と繁栄を得たベトナムの THANH さんの歌の穏やかさに、ベトナム戦争を知る者はうれしく思いました。

さることを願っています。また、短歌は作るだけでなく、人の歌を読んで感じることが上達の道です。ぜひ作品集の歌を読 より感謝申し上げます。この大会で短歌に挑戦した皆さんが、これからも歌で表現する、思いを伝え合うことを続けてくだ 以上大賞等一部のみ講評させていただきましたが、今年も秀歌が目白押しでした。先生方のご指導の賜物と存じます。心

最後にいちき串木野市をはじめ、 羽島史跡顕彰会の皆様、 大会のご尽力下さいました皆様に心より御礼申し上げます。

黎明の地ふるさと短歌大会の概要

趣 旨

まち」と教育行政の目標である「ふるさとを愛し 本市が輩出した歌人、萬造寺斉氏を顕彰するとともに、市の将来都市像「ひとが輝き 夢と志をもち 心豊かでたくましい人づくり」の体現を目指します。 文化の薫る 世界に拓かれた

主催 等

(三)(二)(一) 後主主 催 羽島史跡顕彰会、 いちき串木野市、 V ちき串木野市教育委員会

管 黎明の地ふるさと短歌大会実行委員会

鹿児島県、 鹿児島県教育委員会、県文化協会、 県 歌・ 人協会

市文化協会、 南日本新聞社、 れいめい羽島協議会

応募作品数に ついて

小学生の 部 六百八十四 首

中学生の 部 千五百二十九首

(五)(四)(三)(二)(一) 高校生の 0) 部 部 二百三十三首 千三百二十八首

留学生の 部 五十三首

計 三千八百二十七首

兀 各賞について

大入

全部門の 中から一名

最優秀賞 各部門一名 介、 中 高、 般の四部門)

秀 賞

各部門

名

五. 特選 留学生 入 選 南日本新聞社賞 教 選 県歌人協会賞 市 表彰式について 育長 者 長 賞 賞 賞 賞 小 小 二十首】 三十首】 各部門一 各部門一 各部門一 各部門 全部門の中から四名 各部門一 中 中 名 名 名 名 名 二十首】 三十首】 高 IJ IJ IJ IJ 高 IJ

会 日 時

式

順

〈オープニング〉

望郷歌

コールあじさい

令和六年十月十九日 (土) 午前十時 から

三十首】

般

三十首】

二十首】

般

二十首】

いちき串木野市 羽島交流センター

開会のことば

実行委員会あいさつ ------川口勝則会長

市長あいさつ------中 屋謙 総治市長

来賓・ 主催者紹介

表 彰

選

閉会のことば

評 鶴田直樹審查委員長

-6-

選 者 (一次審査及び本審査)

鶴 田 直樹

所属等 県 歌 人協会会長 にしき江主幹 読売新聞薩摩よみうり文芸歌壇選者

作 品 現代鹿児島短歌大系 21 表

彰

平成二十七年南日本文化賞受賞

(錦江社「にしき江」)

鏑流馬 所属等 みどり 県歌人協会事務局長・県歌人協会青少年短歌育成委員長

作 19 表

彰

平

成九年黎明賞

(結社賞)

受賞

平成十五年平成の歌会平安神宮賞受賞

結社

「黎明」

運営委員

品 現代鹿児島短歌大系

所属等

黒瀬

圭子

県歌人協会運営委員 にしき江編集委員

表 彰 第七 回]海南賞 (結社賞) 受賞

寺地 悟

所属等 県歌人協会運営委員 南船社編集委員 日本歌人クラブ鹿児島県代表幹事

彰 平 成四年鹿児島新報文学賞 平成三十年第 33回国民文化祭文部科学大臣賞

平野 淳子

表

所属等 県歌 人協会会員 山茶花社会員 (結社名 「山茶花社」)

表 彰 平成二十七年度山茶花賞受賞

大賞および各部の最優秀賞

【黎明の地ふるさと短歌大会 大賞】

やってみろ父は南洋マグロ船

メールが届き一歩を決めるうし声ジェクロ舟

いちき串木野市 猪之鼻 浩二

【小学生の部 最優秀賞】

なわおもくふきあげはまでのじびきあみしずむ足にも力を入れる

いちき串木野市立川上小学校四年 藤井 志織

【中学生の部 最優秀賞】

夏空に奏でる音色響かせて思いを音におりる指揮棒

伊佐市立大口中央中学校二年 西 よしの

高校生の部 最優秀賞】

今行くよ鳴く子牛へと走ってくミルクのぬくもり大事に抱え 県立市来農芸高等学校三年 吉野

由桜

一般の部 最優秀賞】

卒寿までキッ チンに立てる喜びをロール キャベツのさ緑に巻く

霧島市 四元 幸子

小学生の部

優秀賞・市長賞・県歌人協会賞・選者賞・教育長賞・南日本新聞社賞

優秀賞

やどかりをい わをどかしてみ つけたよ はさみがこわくてと れ な かっ た ょ

いちき串木野市立羽島小学校 一年 冨

永

結月

市長賞

広がる田大きな か が み 山うつすバスに 乗っ てる わ たしもうつす

1 ちき串木野市立川上小学校四年 Ш 地 未紗

袓

県歌人協会賞

母の家しょうじにふすまなつかしいこっ そり開 けた 1 さな 私

日置市立鶴丸小学校六年 中道 恋花

選者賞

ぽ つぽつとしずくがおどるかさの上かえるの鳴き声ば んそうに て

薩摩川内市立平佐東小学校五年 田 中 昭 太

教育長賞

門をぬけみ んなにとどけぼく 0 声朝の 放送ひび < あい さつ

鹿屋市立西原台小学校五 年 Ш 元 鉄笙

南日本新聞社賞

すきとおる緑の水が 流 れてる蛍が集まるみ 'n な 0 た な だ

湧水町立幸田小学校六年 田 中 啓太

特 選

ス 夕 1 ١ でこころ が おどる およぎだし ター ン ŧ き ま ŋ Ż 1 ム は どうだ

並 船 筆 筆 ż ٧١ ね ٧١ に 明 る ž 暗 ż を 描 き 上 げ

ちき串木野

い

5

き串

木

野

市

<u>\</u>

照

島

小

学

校

六 年

有

薗

晃

河

い

市

<u>\</u>

串

木

野

小

学校六年

平

野

里

紗

速 す ぎて あ み 追 ٧١ つ か ず 青 ŀ ン ボ ٧ ん で 4 た ٧١ な あ 0) は ね つ け 7

V ち き 串 木 野 市 立 羽 島 小 学 校 Ŧī. 年 大﨑 銀 志

春 風 が ぼ < 0 せ な か を お L 7 ٧١ < 新 学年 が ٧١ ざ ス 9 1 ŀ だ

暑

٧١

夏

風

向

き

変

わ

n

ば

雨

近

٧١

牛

舎

の

に

お

٧١

鼻

に

つ

<

か

な

VI

ち

き

串

木

野

市

<u>77.</u>

旭

小

学

校

六

年

荒

原

享介

い 5 き 串 木 野 市 立. 生 福 小 学 校 五. 年 幾 留 祥

飛 ん で きた 外 野 を 越 える 大 飛 球 最 後 ま で 追 えス 1 パ 1 キ ャ ッ 千

V 5 き 串 木 野 市 <u>\f</u> 生 福 小 学 校 六年 池 田 鉄 生

ギ ・ラギ ラと 2 は 泳 **〈*** 水 0 中 ほ う た ٧١ ま ٧١ た 右 足 見 つ め

V 5 き串 木 野 市 立 市 来 小 学 校 兀 年 小 原 な 0) 葉

VI

5

き串

木

野

市

立

市

来

小

学

,校三年

久

見

瀬

航

大

市 来 小 す な は ま に 海 空見 れ ば 雲 ۲ お そ ろ ٧١ 私 の 2

V ち き串 う木 野 市 <u>\f\</u> 市 来 小 学 校 六年 **佘** 陽 真

秋 0 木に み の る て "ئہ < ろ 紅 色に 12 に あ わ せ て ひ ら ひ らおどる

いちき串木野 市 立 Ш 上 小 学 校 二年 蓑 手 郁 佳

三本 つ ぎ 0 つ ぎと び きょ でぐさっ う だ ٧١ み た ٧١ な h お ٧١ ŧ さ h に むらさき色 ٧١ ぐに ゃ の 'n, にゃ くきて てい とうじょ

71 ちき串木 野 市 立 Ш 上 小 学 ,校三年 榎 袁 大晟

親 か 6 0 大 事 な 名 前 ŧ らっ た ょ 自 分 0 名 前 番 大

ゅ

とう

Ž

る

だ

で

ŧ

ž

Ż

<

〈*

L

て

ど

ろ

だ

ら

Ú

4

h

なでうえた

さつ

ま

٧١

ŧ

ぼ

<

0

か

お

神村 学 園 初 等 部 六 年 俣 木 小 乃 香

より大きくなっ て 鹿児島市 ね <u>\(\frac{1}{2} \) \(\frac{1}{2} \)</u> 本 城 小学: ·校二年 松 尾 希

星

夏 の ょ る 首 ふり Ĺ な ٧١ せ h ٤٤, うき 袓 父母 0 家で ま だ元 気 だ ょ

は け ょ い す ŧ う大 会初 参加 で か ٧١ 相 手 を お L 出 l て や る

٠Ś٠ る ž ۲ は 大っ な 引 きの 合戦 だ上方下方どち らも 応 Ż

父 が ۲ ŋ 荊 辺 に 集 め た 山 太 郎 か ぼ ちゃ を 食べ ż せ 自 然 の 甘 ż

ま だ か な ۲ つ ば め 0 ひ な が 顏 を 出 L Œ ζ. が 先だ ۲ 親 つ ば め 待 つ

つ な ٧١ だ 手見上 げ て み 3 ۲ 母 0 笑ぇ み今で は 見下 ・ろす 変 わ 5 タネユ 笑 顏

٧١ つ せ ٧١ に 緑 が 赤 ï 変化 l てまど から見えるも みじ の دکہ . دکر き

> 屋 市 <u>\frac{1}{1}</u> 西 原 台 小 学 校 五. 馬 場 萌 彩

鹿

種 子 町 立 星 原 小 学 校 六 年 大 Ш 敦 己

中

摩 Ш 内 市 立 Ш 内 小 学 校 六 年 菊 地 椋 翔

薩

薩 摩 Ш 内 市 立 副 田 小学 校 六 年 海 野 克己

薩 摩 Ш 内 市 <u>\f\</u> 平 佐 東 小 学 校 六 年 松 田 翔太

日 置 市 <u>\f</u> 伊 作 小 学 校 六 年 鳥 井 \Box 琉 楓

南 九 州 市 $\frac{1}{2}$ 大 丸 小学 校 六 年 大坪 千 春

入 選

夏 休 み虫取り行 < と木の 幹 で大きな ク ワ ガ Z 対 戦

お 父 さん しょ う ち ゅ う 0 h で よっ ぱ ら ٧١ ŧ う お 父さん めっ ちゃ が

雨 続 きど h より気 分昨 日 0 私 に ゅ うどう雲 が 元 気 をく n た

海み わ た ŋ Í な h だ .. :. h かう け つ が れこ ħ か りら 生き ŧ だ ٧١ じ に l た

人 Q 0 未 来 の た め に 羽 島 か 6 刀 を あ ず け 学 問 Ø 旅

凞 島 0 波 濤 を越 **心えてが** 合言葉走 り切 ŋ た Vì ラ ス ŀ 0 持

> ら いちき串 ħ る 木 野 市 <u>\f</u> 串 木 野 小 学校五 赤岩 さち

11 ちき串 木 野 市 <u>\</u> 串 木 野 小 学 校 Ŧī. 峯 完 優 実

V 5 き串 木 野 市 <u>\f</u> 串 木 野 小 学 **- 校六年** 大迫 さくら

٧١

1 ち き串 木 野 市 立 串 木 野 小 学 校六年 尾辻 康 汰

5 き 串 木 野 市 立. 串 木 野 小 学 **子校六年** 寺 師 吹

い

11 ち き串 木 野 市 立 照 島 小 学 校六年 迫 あ お 1

久

走

ゃ ۲* か ŋ o) ٧١ えを の ぞ ٧١ て た l か め た は さみ が な ٧١ なら つ か まえちゃ う

いちき串 木野 市 立羽 島 小 学 , 校 年 栫 絢人

ヤ ど か ŋ の せ な か を たたく ٧ か < n た ょ ٧١ そ い で ٧١ て ŧ ŧ う Ż っ け たよ

いちき串木野 市 寸. 羽 島 小 学 校 年 栫 凛ノ佑

シ ュ 1 ١ を二て ん ŧ きめ るう n L ٧١ なつ ぎ の L あ ٧١ で 十 てん きめ る

1 ちき串木 野 市 <u>\</u> 羽 島 小 学 校 二年 栫 心 海

羽鳥 島 か ら命を か け て旅 立っ た に十九人の想 まも ٧ì は 今も

気持ちもぱ っ ٧ 照らす ょ V 5 き串木 野 市 立 旭 小 学 校 兀 年 早 崎 太陽

11

5

う き 串

木

野

市

立

荒

Ш

小

学

校六年

上

袁

崇仁

せ ま くで太鼓 ۲ 鐘ね の う た ひ び < 大里田 ん ぼ たなばたおど

う

み ざ ぶ

んし

お

か

ぜ

J,

け

ば

夏が

<

るみ

ん

な

ŧ

ぼ

<

もう

み

ŧ

ち

۲

お

ぼ

ろ

げ

i=

光飛

び

交う

ホ

タ

ル

た

ち

みん

な

の

は

ŧ

け

٧١

ば

長

٧١

す

な

は

ともだち 1 5 き串木野 市 立 市 来 小 学 ·校三年 北 ノ 康 梨乃

ŧ を か け ね け る ぼ < 5 の ば h だ ٧١ ち ば ん めざ いち せ き串木野 市 <u>\f</u> 市 来 小 学 校三年 小 松 原 優 斗

いちき串木野 市 立 市 来 小 学 校五 年 松 木 田 梨 瑚

弟 ۲ 松 0 ٢ ン ネ ル か け ね け て 青 が 広が る 市 来海

いち き串木 野 市 <u>\f}</u> 市 来 小 学 校 六年 南 愛莉

ろ び そう あ L が ぬ け な ٧١ た ٧١ ^ h だ やっ ٧ お わっ た み んなで たうえ

いち う き 串 木野 市 立 Ш 上 小 学 校 年 久 木 山 結 人

た の L V ょ <u>ئ</u>د ا る で と足がう もぐ 3 0 が h ばる ょ せ み ŧ おうえんし てく ħ るよ

田

う

Ž

0

日

ず

IŦ

っ

まっ

て

<

動

つきに

くく

てころ

h

じゃっ

5

た ょ いちき串木野 11 う き 串 木 野 市 市 立 立 Ш Ш 上 上 小 小 学 学 校三年 校 年 原 木 場 田 祐 愛 音 作

た の L 4 は 電車 i ゅ ħ て 友 人と か たをならべ て笑 VI あ ì ح き

た

の

L

4

は

カー

テ

ン

を

開

H

朝

露を見なが

5

今

日

0

初

め

に

٧١

る

۲

ŧ

神 村 学 遠 初 部 六 年 有 馬 凜

神 村学 遠 初 等 部 六 年 鮫 島 琉 太朗

あ つ い 夏 まっ か な か お で す ٧١ か 食べ た ね を ٧ ば l 7 あ つ ż わ す n る 伊

お ぼ ら だ n ٨ 昔 か 5 あ る 大 切 な言 わ n て う れ L ٧١ 笑 顏 の 言 葉

伊

仙

町

<u>√</u>

馬

根

小

学

校二

重

松

麗

陽

人

う み の む こう今で ŧ う か **ڏ**ڙ. 友 0 顏 笑 顏 ۲ とも に な み だ が ポ 口 IJ

> 仙 町 立 馬 根 小 学 校 兀 年 重 松 瑠 輝 人

島

市

立

郡

Щ

小

学

校

Ŧī.

年

野

頭

佑

月

風 に の ŋ دئہ わ ŋ بح ح ど ٧١ た プ レ ゼ ン ŀ わ た l の か み に ż < ら の 花 び 鹿児 Ġ

鹿児 島 市 立 本 城 小 · 学 校 兀 年 濵 田 4 0)

声 あ げ て一 致 団 結 綱 を 引 < 深 ま る きず な 勝 負 をこえ て

汗

だ

<

0

体

カテ

ス

١

走

る

ぼ

<

全

て

0

項

目

前

ょ

ŋ

成

合う六 合 わ 勝 利 ざ

本

の

つ

な

を

引

き

の 一

力

を

せ

を

め

ス 1 力 わ ŋ 4 ん な 0 声 で で右左波い をた た ٧١ て 目 か < L を 取 る

大 掃 除 思 ٧١ 出 見 つ け な つ か L む 次 Q 見 て た Ġ ŧ つ ٧ 散 5 か る

深 呼 吸 森 林 浴 で つ か n ۲ "کہ 見下 ら L ż が す わ が 袓 父 0 家

> 鹿 屋 市 立 西 原 台 小 学 校 六 年 赤 崹 亮

薩 摩 Ш 内 市 立 Ш 内 小 学 校 六 年 菊 池 梨奈

薩 摩 Ш 内 市 立 Ш 内 小 学 校 六 年 浦 美 咲

薩 摩 Ш 内 市 立 平 佐 東 小 学 校 五. 年 重 水 優之介

日 置 市 <u>\f</u> 鶴 丸 小 学 校 六 年 渡 樹 梨

南 九 州 市 <u>\(\frac{1}{2} \)</u> 大 丸 小学 校 六 年 中 1 森 晴

佳 作

た 0 L 4 は 学 校 帰 ģ i 弟と 楽 L VI は な L を L て VI る ٧

帰 ŋ 道 VI つ ŧ 0 道 を急ぐ 足 母 0 " は ん ま で よし ٧١ ス タ 1

あ

せ

が

で

て

ぼ

<

は

は

L

る

よゴ

1

ル

ま

で

あ

٧١

て

を

や

٧١

て

パ

1

ン

۲

け

っ

た

冏

久

根

市

立.

折

多

小

学

校

六

年

小

原

寧

王

いち き串 木 野 市 立. 串 木 野 小 学 校 五. 岩 永 葉 月

1 5 き串 木 野 市 立 串 木 野 小 学校五 是 枝 寿 海

串木野で生まれて育ち今があるこれから先も見守っていて

み 5 ٧١ ^ ح 工 ス デ 1 1 ジー ズ た V せ つ に あ ٧ に ひ きつ **〈*** だ ٧١ じ な みらい

夏 0 空 星 座を見上 げ笑い 合う わ す ħ Ġ ħ な ٧١ 夏 の 思 ٧١ 出

٠Ś٠ る ょ ۲ の み ん な で ž わ **(*** 夏 の 夜 ż の ż 踊 ŋ で ダンシ ン グ ナ ゥ

た < さんの 人で に ***** わ 'n 口 1 タ IJ 1 2 ŧ **躍**おど る串 木 野 さ の ż

冬に な ŋ 出 水 の 空 に つ る が ŧ j ぼ < の Z, る ょ ح 出 水に お ٧١ で

波 0 音 遠 < に ひ び < 汽 笛 の 音ね 手 を ふる 先 に 友 の ٧١ る 島

海 か お る波うち *****" わ で は しゃ **〈*** 君笑顏 に な ħ る 凞 島 出海岸

夏 祭 ŋ بخ う ろ ź の 灯 ŋ Ĺ ŧ す ٤ きき れ ٧١ に か が や < ٧١ ち き串木野 市

夏 の 神 社 とうろ う の 絵 か ざら n て きらきら か が や < 4 ん な Ø 笑顔

灯 籠 で故 人 の 道 を 灯 L てく ٧١ きつく場 所 は 極 楽 浄 土

溉 島 1 海 から 響 < 波 の 音 今 日 も元気と 言っ て る み た

や ど か ŋ 0 あ L が は やく て 15 げ 5 n た あ み で す < つ て つ か ま えて

台 風 だ ゴ 口 ゴ 口 ゴ 口 ゴ 口 う なっ て るカミナリ ŕ ち の 運動会だ

いちき串木野市立串木野小学校六年 宇野 笑鈴

いちき串木野市立串木野小学校六年 佐藤 央

琉

ちき串木野市立串木野小学校六年 中島 香

音

い

11 5 き串 木 野 市 立 串 木 野 小 学 **-校六年** 西 田 律

いちき串木野市立串木野小学校六年 萩木場 諒介

いちき串木野市立串木野小学校六年 橋之口 良将

11 5 き串 木 野 市 <u>\f</u> 串 木 野 小 学校六年 原 田 実 穏

11 5 う き 串 木 野 市 立 串 木 野 小 学校六年 萬 福 朋 歌

V 5 う き 串 木 野 市 <u>\f}</u> 照 島 小 学 校 六年 石 Ш 怜 奈

11 5 う き 串 木 野 市 立 照 島 小 学 校 六年 久 木 野 歩 夢

11 5 き串 木 野 市 立 照 島 小 学 校 六年 中 村 開

11 5 き串 木 野 市 <u>\f\</u> 照 島 小 学 校 六年 和 田 真 輝

いちき串木野市立羽島小学校一年 赤岩 花

やる

)き串木野市立羽島小学校五年 池満 吏穏

1

5

た 0 l み は 私 だ け の 日 の 当 たる 秘 密基地 で 1 説 読 む 時

海み え若きさつ の留学生想りゅうがくせいおも の湊風

を Z ŧ ٧١ . دک き や け

る

英れこく を夢み て つ どう 羽島港・ さ つ ま は や ح 0 お ŧ ٧١ を む ね に

炎 は きこ わ ٧١ ŧ の な L どうどう ٤ 世 界 横 断 む て き な ゴ ジ ラ

ŧ **〈*** ろ 0 ね モ チ 1 フ に l た 体 育 館上 から 퇸 た 5 ŧ **〈*** ろ の 形

子 Ł" ŧ 0 日 家 族 み 6 な で は か た 船 手 を ٠Ś٠ る 人に 元 気 を 送 る

絵 を か ٧١ た 六 月どう の 灯とう ろうに わ < わ < す る ね な つ の は ľ ま ŋ

サ ワ 1 ポ X 口 少 し に が < て お ٧١ l ٧١ ょ ٧١ ち き 串 木 野 を感 じ る味だ

守 備 中 i ક あこ い さ あ こい 声 出 L て 気 合 ٧١ 発 ナ 1 ス プ レ

ピ 1 ピ 1 ピー ひ な が 鳴 ٧١ て 贈 ŋ 物 親 鳥 た ち は ウー バ 1 1 1 ツ

L

1

ŀ

!

昼 た 休 0 L み サ 4 は カー タ 日 背 楽 中 L に む 父 友 親 達 と二人 ۲ 入っ 野球 て ま で 之希望 勝 負 す る の シュ 時

ッ

君 が ٧١ た ぼ < に 芽 生 える 親 12 小 ž な鉢 の 大 きな

<

ろ

う

さぎどこかでピョ

ン

ピ

3

ン

は

ね

て

٧١

る

<

るまをさけ

て

ハ

ブ

から

に

V 5 う き 串 木 野 市 立. 羽 島 小 学 , 校 六年 大井 美 瑚

き 串 木 野 市 立 旭 小 学 校 兀 年 大 久 保 遥 真

い

ち

ち き 串 木 野 市 立. 旭 小 学 校 兀 年 新 屋 敷 蓮 仁

V

い ち き 串 木 野 市 立 生 福 小 学 校 兀 年 宇 都 悠

真

い ち き 串 木 野 市 <u>77.</u> 生 福 小 学 校 兀 年 前 村 遼 信

い 5 き 串 木 野 市 立. 荒 Ш 小 学 校 六 年 大﨑 楓 馬

V 5 き 串 木 野 市 立 市 来 小 学 ,校三年 宮 原 景 太

11 5 き串 木 野 市 立 市 来 小 学 校 五. 年 **佘村** 律 貴

1 5 き 串 木 野 市 立. Ш 上 小 学 校 Ŧī. 年 内 田 創 大

11 ち き 串 木 野 市 立. Ш 上 小 学 校 六 年 小 牟 田 ひ ま ŋ

神 村 学 遠 初 等 部 六 年 小 城 千 輝

神 村 学 袁 初 等 部 六 年 弓 場 丰 悟

神 -村学園 げ 初 部 六 年 若 松 皆 幸

伊 仙町 立馬 根 小 学校三年 竹 内 陽 詩

庭 に 出 てごろ 'n ۲ L な がら草木見て 緑 に 点 初 な ŋ ٧١ ち

飛 行 機 が 青 ٧١ け む 出 な が ら み ん な 0) 憧 れ ブ パ ル

ŋ

を

l

ル

ì

1

ン

ス

鹿

٠Ś٠ る ž ٧ 0 バ ラ 咲 < 春 は 美 L ٧١ 光 輝 < 人 生 で あ

運 動 会 か な わ 回 L を が h ば つ た 走 るこ ۲ に ŧ せ ٧١ ٧١ っ ぱ ٧١ に

わ た l 0 木 11 さ ٧١ け n ど 桜 ょ < 大 きく な n ょ わ た L 0 せ ま で

٠Ś٠ る ż ۲ を 守っ て きて < 私 た ち Z の る ょ ٧ を ずっ ۲ 見 つ め て 鹿

生 Z, 鹿

ぼ < さ ま は 1 ケ X ン < ん だ ٧١ ٧١ で L ょ う あ た ま が ょ ζ て あ L が は や ょ

黒 ٧١ 土 4 h なで う め た サ ツ マ 1 モ早く そ だっ て や き ٧١ ŧ パ 1 ティ 1

祖 父 0 家 広 ٧١ お 庭 で遊 h だ ら チ ij ン ۲ な っ た 小 ż な 風

泉のかくろう 0 鳴 き声耳 を 傾けかたむ け る る瞼をご 閉と 3 Ū 足 を 留と め る

海 0 上 ۲ び 魚が 飛 び か うこし き島 は なや か に 香 る 力 1 コ ユ IJ

思 ٧١ 出 0 自 然 あ 'n, n るこし き島 力 ノ コ ュ IJ た ち ほ 0 か に か お る

小 ż < て ŧ 感 動 大 ŧ ٧١ こし き島 宝 石 0 ょ う な 美 L VI 海

び み た ٧١ う ね う ね L てるどこま で ŧ きり が 流 n る 끠 内 끠

> 鹿 屋 市 立. 西 原 台 小 学 校 Ŧī. 年 柿 内 陽 喜

屋 市 立 西 原 台 小 学 校 Ŧī. 年 祭 茂 唯 稀

屋 市 立. 西 原 台 小 学 校 五. 年 鎮 宇 美 光花

鹿

鹿 屋 屋 市 市 立 立 西 西 原 原 台 台 小 小 学 学 校 校 Ŧī. Ŧī. 年 年 中 東 膳 尾 侑 未 愛 侑

V 屋市 <u>\f</u> 西 原 台 小 学 校 五. 年 永 原 夢 依

鹿 屋市 <u>√</u> 西 原 台 小 学 校 Ŧī. 年 東 幸 佑

鹿 屋 市 立 西 原 台 小 学 校 Ŧī. 年 和 田 遼 真

鹿 屋 市 <u>\f</u> 西 原 台 小 学 校 六 年 石 橋 七 星

鹿 屋 市 <u>\f</u> 西 原 台 小 学 校 六 年 内 濹 栄 太

薩 摩 Ш 内 市 立 Ш 内 小 学 校 六 年 河 野 結 月

薩

摩

Ш

内

市

立

Ш

内

小

学

校

六

年

兒

島

悠斗

薩 摩 Ш 内 市 立 Ш 内 小 学 校 六 年 瀧 野 に き

薩 摩 Ш 内 市 立 Ш 内 小 学 校 六 年 中 村 凰 雅 あ

6

風に乗りさくらの花びらまい上がる山の緑はもう夏の色

ふるさとは犬とさんぽの田んぼ道夕日に向かい走りゆく時

薩摩川内市立平佐東小学校六年 上村 凛音

ふるさとは遊ぶとこなくひまであるどんなときでもなかまとゲーム

日置市立伊作小学校六年 原田 快陽

日

置市立伊作

:小学校:

六

年

小

濵

華

鈴

どりいろなつかしくなるただいまと静かな山に一人でさけぶ

た

0

L

み

はドリブル

みんなぬきながらねらい

み

結太

すましてシュートする時

日置市立和田小学校六年 出口 佳悟

-20-

中学生の部 優秀賞・市長賞・県歌人協会賞・選者賞・教育長賞・南日本新聞社賞

-21-

【 優秀賞 】

しんみりと私の世界静まった的と目が合い今矢を放

市長賞】

日置市立東市来中学校二年 前迫 ひなの

つ

夕焼けに向かって吹くよ課題曲まだまだ続

鹿児島市立福平中学校二年 沖田 瑠南

<

私

0

夏は

県歌人協会賞 】

雨 音に絵 の具もやすらぎ溶けてゆく紫陽花色の写生帳 かな

鹿児島市立伊敷台中学校一年 才原 結仁

【選者賞】

登

4下校いつも見ている風景の昨日と今日の間違い探し

出水市立鶴荘学園八年 時吉 悠太

教育長賞

ピッ チではポジショ ン奪うライバルで寮の中では 大切 な 友

神村学園中等部三年 田中 栞渚

【 南日本新聞社賞 】

夜 が更けて月下美人が笑ってる月の 明 か ŋ に 照 ら され な が

いちき串木野市立串木野西中学校三年 吉武 慈珠

5

特選】

鶴 の 群 ħ 冬 が 来た よと 鳥 の 便 ŋ わ < わ < する な 羽 数 調 査

授 業 中 寝 て ٧١ る ときに 起こさ n る 船 の 汽 笛 0 目 覚 ま L 時 計

くれない 紅な or u 鳥 居 が 映 る る水面 に 神 様 集 う 照 島 神 社

然のは人が用いてもしれます。用しれず

袓 母 0 家部 屋 の 中 まで 草 ٧١ き n 暑 さ消 L 去る風 鈴 の 音

見

上

げ

ħ

ば

止

ま

5

な

٧١

雨

ŧ

う

٧١

っ

そ

梅

雨

は

蛙

٧

L

7

生

きてみ

たい

夏 帰 省た < ż ん 遊 "ئہ 友達 とみ ん な 変 入わっ て 別 人 4 た

沖縄の命どう宝その言葉摩文仁の丘で幾度呟くゅっぱっ

曽 祖 父 の 植 えた 杉 の 木 触 ħ て 立 つ 父 が 教 える家族 の 歴 史

何 気 な ٧١ あ 0 日 常 が ょ み が える 離 n て 気 付 < 兄 0 大 事 ž

方言 ۲ 畳 の に お ٧١ 直 に 浴 び 帰っ て きた とこころ 温 ŧ る

夕暮 n の **黄**ごが 金 に 染 İ る 空 を 4 て 羽 0 鳥 ۲ 似 て る 我 あ ŋ

初 め て 0 友 達 ٧ み る 映 画 館 シ ェ P L て 食べ た ポ ッ プ コ ン

入

時

五

分

棚

0

中

か

ら

探

L

出す手に

とる本

は

朝

の

楽

L

み

出水市立鶴荘学園七年 尾籠 凌

真

11 5 き串 木 野 市 <u>\f</u> 串 木 野 中 学 校二年 桑 畑 賢 志 朗

ちき串木野市立串木野中学校二年 花田 篤

V

よいちき串木野市立串木野中学校三年 古川 栞

いちき串木野市立串木野西中学校二年 村田

花

奈

神村学園中等部三年 宮村 一花

神村学園中等部三年 米村 颯真

伊仙町立犬田布中学校一年 橋口 結彩

与論町立与論中学校二年 坂元 真綾

鹿児島市立坂元中学校三年 住本 愛恵

鹿児島市立城西中学校二年 有村 瑛友

児島市立城西中学校二年 鎌田 昂汰

鹿

児島市立城西中学校二年 白土 瑛

鹿

青 空 に 飛 行 機 雲 の 白 ٧١ 線 家 族 緒 に 下 る 坂 道

帰 ŋ 道 飽 き 飽 きし て ŧ よく 見 n ば 紫 尾 の 山 Q 衣 替 之中

帰 ŋ 道 私 ۲ 空 の 二人きり 風 に ぉ ž ħ て 進 む 足

大 綱 引 き市 民 0 気 迫 綱 に 乗 せ 夜 風に響く 番 太

先 軰 0 音 な ŋ 響 Ÿ サ ッ ク ス 0 自 分 ŧ な ŋ た ٧١ あ Z が n 0 音

幼 少 の 思 ٧١ 出 秘 め た 通 学 路 変 わ っ た 風 景 変 わ っ た 私

る ż ۲ は ٧١ つ か 帰 っ て < るところま た ね ٧ ٧١ つ て 出 て ٧١ くところ

Ľ,

入選】

梅 雨 0 時 期 学 校 休 み ۲ 願 う 今 日 学校 から の 連 絡 は な ٧١

セ 3 0 声 猛 暑 0 赤 に 鳴 'n 響 < 風 鈴 ž Ż ŧ 頭 抱 Ż る

僕 た ち は 生 きて ٧١ < う Ś 無 ٧١ 物 を あ ٧ か ら 気 ず < そ ì な 人生

戦 争 は 自 然 をこ わ l て人 を 殺 す そ n で ŧ 続 け る お ろ か な 人 た ち

最響の の 音 色 響 か すこの 夏 に 越 えてて み せ る ょ す 黄色 0 壁

教 室 0 窓 から見 える コ 1 ١ に は ナ 1 ス シ 3 ッ ١ 0 か け

鹿児島市立城西中学校二年 永里 花

さつま町立宮之城中学校二年 田島 しずく

つま町立宮之城中学校二年 徳留 玲

さ

摩川内市立平成中学校一年 岩川 修太朗

薩

日

置

市

<u>\(\frac{1}{\chi} \)</u>

東市

来

中

-学 校

二年

江

П

日

陽

日置市立東市来中学校二年 岡 ゆり

南大隅町立根占中学校二年 大竹野 和歌

大口明光学園中学校二年 井手下 絢美

伊佐市立大口中央中学校二年 木場野 太地

伊佐市立大口中央中学校二年 松尾 秋幸

伊佐市立大口中央中学校二年 松原 京真

佐市立大口中央中学校二年 吉田 実心

水市立鶴荘学園七年 向島 花奏

出

声響

<

伊

ラ 1 バ ル ٧ ス 夕 1 ŀ な ら . دکر 決 勝 戦 きこえ てく る 0 は 仲 間 0 工 1 ル

プ 1 ル 後 ぬ n た か み が 風 で ゅ n 塩 素 の に お ٧V ツ 1 ン ۲ 香 る

N 学 式 制 服 を きて ۴ ッ キ ۴ キ 体 育 館 に دک. 4 出 す 歩

好す き な 子こ ۲ 離な ħ 離ばな n で ż み L V が Z 0 海カ で きっ ٧ 繋な が っ て ٧١ る

そ

で

ぬ

5

L

に

ら

h

で

٧

n

た

水

風

せ

h

暑さ

۲

٧

ŧ

に

L

ぼ

h

で

l

ŧ

う

ょ

僕 た ち は ほ め ら れ る た び 強 < な る そ れ は な ぜ っ て 人 間 だ か 5

ŧ う 眠 ٧١ 机 0 宿 題 幻 か ? 目 をこ す っ て ŧ 消 えて < n な ٧١

バ ス に 乗 ŋ 席 ゅ ず る 人 素 敵 だ な そ n か 6 続 < 優 l ż 連 鎖

梅 雨 明 け 0 残 る 湿 気 ٧ 増 す 気 温 言 葉 が 漏 n る 登 校 0 日 Q

ツ 1 ٧ ひ < 青 0 色 紙 に 細 ٧١ 雲 だ ん だ h 淡 < 石 橋 0 空

テ ス ŀ 後ご 0 天 気 予 報 は 晴 ħ マ 1 ク 父 0 上 に は か み な ŋ マー ク

先 軰 が ラ ケ 'n ŀ を 置 き 後 軰 が そ n を う け ۲ る 新 l ٧١ 風

走 テ ス ŀ 雨 中 め 周 n ŋ た で 背 中 響 3 に 筆記 音 か 止 け まる か シ ャ 0 1 め ペ ン 解 け 12 晴 χþ 問 n 題

ŋ

さ

L

る

ż

<

ŧ

ŋ

た

ŋ

鹿

鹿

出 水 市 <u>'</u> 鶴荘 学 袁 八 年 出 崹 大 河

5 き 串 木 野 市 立 串 木 野 中 学 校 善 ほ

 \mathcal{O}

い

VI 5 き 串 木 野 市 <u>\f</u> 串 木 野 西 中 学 校 年 潟 村 心 桜

1 5 き 串 木 野 市 <u>17.</u> 串 木 野 西 中 学 校 二年 石 原

重

花

莉

神 村 学 園 中 等 部 年 手 塚 海 都

神

村

学

袁

中

等

部

年

武

田

星

莉

与 論 町 立 与 論 中 学 校 年 大 馬 幸 華

鹿 児 島 市 立 坂 元 中 -学 校 年 内 \blacksquare ゆ な

鹿 児 島 市 <u>\f\</u> 坂 元 中 学 校 年 田 中 結 心

鹿 児 島 市 <u>\f</u> 清 水 中 学 校 年 尾 Ш 淳 行

鹿 児 島 市 <u>\f</u> 城 西 中 学 校 年 中 村 帆 乃

児 島 市 <u>\f</u> 城 西 中 学 校 年 長 尾 紗 和

児 島 市 <u>\f\</u> 城 西 中 学 校 年 渡 邊 鼓 心

鹿

児

島

市

立

福

平

中

学

校

年

是

則

宏

至

友 達 と 別 はな 'n たくな VI この 気 持 ちでもそ の ね が ٧١ 何ぃ 度っ ŧ か な わ な

月 夜だ ね。 母 の 言葉 は つ ۲ す る 私 に な か っ た 25 0 余 裕

٠Ś٠ だ h なら 気 に ŧ 留 め な ٧١ あ 0 雲 ŧ 今 日 は ゅ っ < ŋ さ び L ん ぼ ì

٠Ś٠ る さと の 暗ら ٧١ 夜みず 道 を ぴ か ぴ か ٧ 竹灯篭が てら うす足元

試 合 中 ٧١ つ ŧ ٧ ち が ~ う 先輩 0 姿 に ひ か n 2 う た n る

٠Ś٠ る さと で み 'n な で 決 め た 集 合 場 急 **١**٧ で 行 < ょ 4 h な 待っ て る

故郷ないるさと の 長なが き 歴史 の 用水路 受う け 継っ が n きて ま た 受う け 継っ **(***

夏 休 み た < さん 思 ٧١ 出 作っ た 5 課 題 ŧ や 0 て 新 l ٧١ 僕

秋 空 に 高 < 描 ٧١ た 放 物 線 歓 声 わ VI た Z 日 の 終 わ ŋ

水 面 に 9 日 が 沈 む 河 川 敷夕暮 n 色 に染 め 6 n る 川

佳作】

夕方に太陽を向くひまわりがどこか悲しく終夏を感じる

テ ス ŀ 0 日 時 計 力 チ 力 チ 五 分 前 \neg は じ め 言 ペ 1 ジ を め < る

夏 0 午 後 授 業 に 集 中喋 らず に 響 ζ 0 は 風 0 音 0 4

児島市立福平中学校二年 吉廣 凱

鹿

中 種 子 町 <u>\(\frac{1}{2} \) \(\frac{1}{2} \)</u> 中 種 子 中 · 学 校 年 鎌 田 ね ね

つま町立宮之城中学校二年 桑波田 紗絢

つま町立宮之城中学校二年 検校 寧音

さ

さ

さつま町立宮之城中学校二年 西園 絢音

さ

つ

ま

町

立宮之城

单

学

校

年

别

府

渓音

志布志市立有明中学校二年 吉川 寿頼

長島町立鷹巣中学校一年 馬場 颯汰

日

置

市

<u>i</u>

東

市

来

中

· 学

校

年

谷

П

知

大

南大隅町立根占中学校二年 小路口 陽梨

大口明光学園中学校二年 重久 紘輝

,佐市立大口中央中学校二年 池本 美都

伊

佐市立大口中央中学校二年 寒川 煌月

伊

友と見た年に一回光る空僕の心は明るく灯で

学

校

が

終

わ

っ

て

か

5

0

部

活

動

バ

ス

ケ

が

出

来

る

技

祈

を

磨

<

山映えるさんごのごとく花さかせ花びら流る忠元の滝ょ

夏 の 夜数多に 輝 ζ 星 の 色 つ か ま こえら n な ٧١ 筋 0 光

今 は まだ 気 ゔ゙ ٧١ て ٧١ な ٧١ ふ る きとの きら ŋ あ તે n る良 さ あた た か

٧١ つ だっ て 思 ٧١ 返 せ ば そこに ぁ るこころ の j ち に 故るさと の 景 色

公 園 でシャ ッ 夕 1 鳴 5 ĺ P ル バ ム に 貯た ŧ る思 ٧١ 出 ほ ほ Ž み 語 る

すき透る海を眺めて砂浜に足跡刻む私の思い

凞 島 0 灯 籠 なら "ئہ 六 月灯 夜 空にう か び 目 の 中 か が やく

空 高 < 我 が 我が ۲ 競 ٧١ 合う は か な < 散 つ て 喚声 , あ が る

夏 の 空きら きら 光 るあ 0 星 を 合 わ せ ば 夏 の 大三角

夏休みすごい暑さでとけそうだ家でゴロゴロ母のカミナリ

青 ٧١ 空 海 の 風 ٠Ś، < 串 木 · 野 0 砂 浜 歩き風 に な ŋ É ٧١

春 風 が 桜 0 花 び 5 の 道 作 る そ 0 先 には 入学式

伊佐市立大口中央中学校二年 杉山 湊音

伊佐市立大口中央中学校二年 竹下 叶人

佐市立大口中央中学校二年 中渡 彩七

伊

出水市立鶴荘学園九年 髙瀨 優香

ょ

1 ち き串 木 野 市 <u>\</u> 串 木 野 中 学 校二年 佐 藤 紗 那

11 ち き串 木 野 市 立 串 木 野 中 学 **-**校二年 髙 野 莉 愛

いちき串木野市立串木野中学校二年 中村 佑

1 ち き串 木 野 市 立 串 木 野 中 学 校二年 脇 1 お

り

VI 5 き 串 木 野 市 立 串 木 野 中 学校三年 竹 下 佳

芳

い ち き 串 木 野 市 <u>\</u> 串 木 野 中 学校三年 宮 前 皇 汰

11 5 き 串 木 野 市 立 串 木 野 西 中 学 校 年 野 元 望 央

い ち き 串 木 野 市 立 串 木 野 西 中 · 学 校 年 和 田 悠 士 朗

5 き 串 木 野 市 立. 串 木 野 西 中 学 校 三年 Щ 崹 美 波

5 き串 木 野 市 立 羽 島 中 学 校 年 <u>\</u> 石 夏 奈

い

い

部活がつご 後 に急いる ٧١ で 帰れ ると **家**がぞく ٧١ るこの幸せ に にころ あ た た ŧ る

夏 休 み 部活 帰 ŋ の 山 道 で せ 4 0 鳴 `き声 ゚゙は だ に じ む 汘

串 木 野 の 海 は 輝 ŧ 友集 ふうタ 焼 け に そ ま る 照 島 海 岸

テ ス ŀ 前 部 活 休 み で 勉 強 時 間 明ぁ 日す や る 明ぁ 日す や る 結 局 や Ġ な ٧١

٠Ś٠ ٧ 思う 次 の 夏こそ恋 入 ۲ 夏 0 夜 空に は ľ け る 花 火

セ 3 が 鳴 ζ 週 間 後 この セ 3 0 声 聞 くこと は ŧ う な ٧١ の か な

帰 る た び 笑 顏 あ دک. n る 我 が 家に た < さ h の 人 ぬ < ŧ ŋ が あ る

歩二 歩 未 来 の た め に 踏 み 出 そ j 明 日 は 何 が 待 つ て ٧١ る の か

公 園 で 友と バ 時 近 忘 づ n パ ス 会話 弾 む 夕暮 不 安 n 根

0

V

1

ŧ

ŧ

鬬

VI

0

۲

中

で

٧١

つ

ŧ

<

ょ

ま

よう

な

か

で

0

۲

気

通 学 路 永 安 橋 を わ た ŋ つ つ 稲 荷 0 川 0 P ュ た ち を 見 る

悲 L み が 海 の 鏡 に う つ っ て る 君 に 幸 あ n 明ぁ 日す ^ 0 工 1 ル

親 子 喧 嘩 嫌 VI ٧ 言 っ た 本 当 は 私 ح 0 ٧ き 嘘 を つ ٧١ て る

迷 ٧١ 摿 て 進 むべ ŧ 道 見つ か っ た 12 に 染 4 た 歌 に 救 わ n

> 11 ち き串 木 野 市 <u>77.</u> 羽島 中 学 校三年 山 﨑 沙

> > 世

5 き 串 木 野 市 立 生 冠 中 · 学 校二年 村 田 彩 絆

11

神

村

学

園

中

等

部

年

福

留

カコ

ず

な

村 学 園 中 等 部 年 日 高 美 空

神

与 論 町 <u>寸</u> 与 論 中 学 校 年 沖 希 空

与 論 町 立. 与 論 中 学 校 年 Ш 畑 慶 将

鹿 児 島 市 立 黒 神 中 学 校 年 田 中 彩 希

鹿 児 島 市 <u>\</u> 坂 元 中 -学 校 年 安 藤 瑞 姫

鹿 児 島 市 <u>\f}</u> 坂 元 中 学 校 年 上 永 吉 奏 偹

鹿 児 島 市 立 坂 元 中 · 学 校 年 亚 原 和 香 那

鹿 児 島 市 立 清 水 中 学 校 年 福 留 紳 爾

鹿 児 島 市 立 城 西 中 学 校 年 久 保 芳 嘉

児 島 市 77 城 西 中 学 校 年 中 崹 4 \mathcal{O} n

鹿

児 島 市 立 城 西 中 学 校 年 家守 咲 良

鹿

自 己 ベ ス ١ た だ そ n だ け を 目 標 に 夢 中 で 走 た 陸 上 大 会

コ ン ク 1 ル 先 軰 ۲ 吹 け る 最 後 0 日 金 賞 目 指 L て が h ば る ぞ

色 Z な か け 声 飛 び 交う 体 育 館 ま だ 落 ち て は な ٧١ つ な げ つ な げ 2

自 分 に は 気 に 入 る ところ や 好 ż な 場 所 必 ず あ る ょ 自 分 0 ď, る ż ٧ 鹿

陰がげ VI 校 庭 上 が ュ

ギ

・ラギ

ラ

۲

ひ

٧

つ

な

で

空

高

<

る

ボ

1

ル

に

ダ

ッ

シ

誕 生 日 子 供 0 自 分 が 遠ざ か る 近 ゔ゙ き つ つ あ る 大 人 0 自 分

宿 題 が ۲ て ŧ 多 ĺ١ そ h な 時 答 えをう つ す 変 わ ら な ٧١ 僕

最 初 か 6 仲 間 ۲ 共 に 全力 プ レ 1 落 ۲ l て た ま る か 絶 対 繋 **〈***

ŧ た あ L た タ 幕 n せ ŧ る 空 の 下 同 ľ 言 葉 が あ ٧ 何 回 か

少 L 前 仲 間 ٧ は げ h だ 部 活 動 ٧ き どき 想う 戾 ŋ た ٧١ な ٧

帰 ŋ 道 虫 ゃ 風 0 音ね 聞 Z Ż る が 会 話 0 声 は 聞こ えてこ な

セ

3

の

Ż

ま

だ

聞

こえ

ぬ

な

で

ŧ

VI

つ

か

ひ

٧

に

せ

か

ż

n

聞

こえて

<

る

ぞ

涼 や か な 風 が رکہ わ ŋ ٧ 木 Q ゅ ら L Z, わ ŋ ٧ 香 る 母 0 手 料 理

雨 足 0 強 VI 睦 が 過 ぎさ 文 来 た 差 "کہ

月

ŋ

て

月

る

日

L

ま

L

ŧ

鹿 児 島 市 立 福 平 中 学 校 年 礢 邉 旬 汰

鹿 児 島 市 <u>\f\</u> 福 平 中 学 校 年 井 丰 碧 依

児 島 市 立 福 平 中 学 校 年 岩 下 凛 音

鹿 児 島 市 立 福 平 中 学 校 年 折 \blacksquare 葵

鹿 児 島 市 7 福 平 中 学 校 年 折 \blacksquare 琉 衣

学 校 流

鹿

児

島

市

<u>\f\</u>

福

平

中

年

長

谷

Ш

花

中 種 子 町 立 中 種 子 中 学 校 年 石 堂 優 誠

さ 0 ま 町 立 宮 之 城 单 学 校 年 井 上 恋 彩

さ 0 ま 町 <u>\f\</u> 宮 之 城 单 学 校 年 河 野 優 樹

さ 0 ま 町 <u>\(\frac{1}{2} \)</u> 宮 之 城 单 学 校 年 太 刀 鉾 歩

さつ ま 町 立 宮 之 城 单 学 校 年 増 田 道 成

薩 摩 Ш 内 市 <u>\\ \</u> 平 成 中 学 校 年 竹 本 奈央

薩 塺 Ш 内 市 立. 平 成 中 学 校 年 村 Щ 瑛 奏

摩 Ш 内 市 立. 平 成 中学 校三 年 Ш 原 柚 希

薩

野井倉の台地をうるおす用水路甚兵衛の苦労これにありけり

夏 0 海 ì Ė わ をう か ~ . ? か ٤٤, **þ**, と波に お ž れ 7 回 転 だ

道 の 窓 か ら見 えるな つ か L き八代の の 海 は 今も 変 わ 5 ず

鉄

競 技 場 先 に ゴ 1 ル の ラ 1 バ ル を見て汗と 淚 が 地 面 に ぽ た ŋ

部 活 帰 り真っ 赤 な 夕日 を 眺 め た 5 そ の 輝 ŧ に 負 it h ۲ 思 う

白 球 を 追 ٧١ か け 回 す 空 0 下 空 ま で 響 < 仲 間 0 応 Ž h

塾 帰 ŋ 風 薫る 日 の 雲 見 つ け 暗 ٧١ ど を 流 L て < れ 3

水田のでん に あ る苗 摇 5 す 夏 0 風 袓 父 母 の Z ۲ を 'n, ۲ 思 ٧١ 出

す

ふるさとで桜満開君を待つみんなで一緒に帰ろうよ

布志市立有明中学校二年 佐藤 大河

志

島町立鷹巣中学校二年 濵島 結夏

長

置市立東市来中学校二年 末吉 奏斗

日

置市立東市来中学校二年 永井 真由子

日

日置市立東市来中学校二年 前野 大和

日置市立東市来中学校二年 蓑田 健伸

日 置 市 立 東 市 来 中 学 校 年 八 重 樫 茉 尋

南大隅町立根占中学校二年 谷川 莉菜

南大隅町立根占中学校二年 三宅 琉介

-30-

高校生の部

優秀賞・市長賞・県歌人協会賞・選者賞・教育長賞・南日本新聞社賞

【優秀賞】

放課後の西日がもれる窓ガラス君の机のらくがき見て

県立鹿児島水産高等学校二年 宇多 優志

た

【市長賞】

出荷 の日 あとずさる豚トラッ クへ最後 の 一 押 し感 謝をこめ て

県立市来農芸高等学校三年 上村 愛

/ 3 / 3 8

県歌人協会賞】

ンパンとシャ ١ ル を叩 音響き体育館が 研 ぎ澄 まされ て

県立市来農芸高等学校三年 柿山 柊太

【選者賞】

あ の日から会えなくなっ た親友は声も仕草も変わっ ち まっ た

県立川内商工高等学校一年 田渕 龍真

(教育長賞)

弦を弾く上達よりも指先の皮の厚みがただ増すばかり

県立明桜館高等学校二年 寺田 明兎

【 南日本新聞社賞 】

涼

しげに夕風の吹く田んぼ道犬が顔だす軽トラのまど

出水中央高等学校二年 野崎 翼

選

クー ラ 1 0 効 ٧١ た 教 室午 後 の 授 業気 づ け ば ノー ٢ 解 読 不

授 業 中 お n h じ 鉄 道 窓に 見 Ż 集 中 せ ょ ٧ 警 笛 0 音

玄 関 前 ダブ ル ピ ス 0 川 蟹 に L ゃ が h で 挨 拶 わ が 家

ようこそ

1

鳴 る チ ャ 1 ム ま だ 終 わ 6 や か 先 生 ょ 才 1 バ 1 g 1 ム 保 健 0 授 業

武 道 場 気 《勢を上 げ て 床 を 噛 む 面 4 手 胴 に あ ۲ ŧ ò 本

夏 祭 ŋ ٧١ っ て な ٧١ ょ ٧ み h な 言う 嘘 つ け 4 た ぞ 才 V ŧ 誘 Ż ょ

除 糞 作 業 遊 h で < n ٧ 豚 た ち が ぼ < の 足 元 邪 魔 を L に < る

君 0 そ の 大きな 背 中 で 黒 板 が 見 Ż な ٧١ け n ど 幸 せ 気 分

月た 日き

お 昼 前 君 に 嫌 ٧١ ۲ 嘘 を つ < 正 午 に 解 け る 四りわ 0 嘘

バ

ス

ケ

ッ

١

最

後

0

大

会熱

٧١

夏

託

さ

n

た

ボ

1

ル

は

ず

L

ち

う

僕

懐 か l < 思 ٧١ か Ž せ ば 夏 0 夜 遠 < 聴こ Ž る 島 唄 0 2 え

学 期 新 l VI 服 身 を ま か せ 慣 n な ٧١ 電 車 あ ٧ 時 間

サ ウ ナ に て 袓 父と 語 らう 思 ٧١ 出 を 終 Ż た ら そっ ٧ 扉 開

VI

た

水 中 -央高 等 学 校 年 岩 下 珠 緒

出

水 中 央 高 等 学 校 濱 \blacksquare 和 華

出

<u>√</u> 市 来 農芸 高 等 学 校 年 愛 軍 理 人

県

県 立 市 来農 芸 高 等 学 校 年 稲 留 蓮 人

県 立 市 来農芸 高 等 学 校 年 德 重 翔 太

県 <u>√</u> 市 来 農 芸 高 等 学 校 年 伊 藤 響 樹

県 立 市 来農 芸 高 等 学 校 年 小 田 舜

県 立 市 来農芸 高 等 学 校 年 水 谷 優 花

県 <u>\</u> 串 木 野 高 等 学 校 年 = 浦 音 桜

神 村 学 袁 高 等 部 年 Ш 本 秀

神 村 学 袁 高 等 部 年 橋 \Box 碧 衣

神 村 学 袁 高 等 部 年 別 府 侑

児 島 情 報 高 等 学 校 年 福 留 煌 生

鹿

墓 参 ŋ お じ ٧١ ち ゃ h に 言う久 し ڐۮ ŋ 返 事 は な ٧١ が 面 影 は あ る

初 夏 の 日 0 走っ た あ ۲ 0 部 室 で 0 実 の な ٧١ 会 話 2 n が 幸 せ

木 漏 ħ 日 が 踊 る 五 月 0 昼 下 が ŋ 今 日 ŧ 野 良 猫 が 涼 み に 来 て る

百年のひゃくねん の 時 と き を **重**かさ ね た . 学な び 舎や は栴檀と共に学徒 へを 見守 ^{みまも}

祖 父 宅 の 食 卓 に あ る お す そ わ け ご近 所 <u>خ</u> h 0 濃 ٧١ め 0 煮 物

体 重 が ま た 落 ち た ょ ٧ 袓 父 が 言う 僕 0 どこ か に か す か な 痛 4

猛 暑 日 0 か が む 姿勢 で 落 ち る 汗 ٧١ つ ŧ ٧ ち が う最 後 ひ ٧ 稲

> 県 明 桜 館 高 等 学 校二 鹿 倉 ね ね

玉 立 鹿 児 島 工 業 高 等 専 菛 学 校 年 Щ 中 俊 佑

立 鹿 児 島 工 業 高 等 専 門 学 校三 年 大 久 保 郷 平

玉

立 鹿 児 島 工 業 高 等 専 菛 学 校 年 田 中 倖 成

玉

県 立 Ш 内 商 工 高 等 学 校 年 岩下 琉 生

県 立 Ш 内 商 工 高 等 学 校 年 田 島 駿

<u>\f</u> Ш 内 商 工 高 等 学 校 年 増 田 透 真

県

入 選

鶴 が 舞 Š 퇸 慣 れ て しまっ た景色さえ恋しく なる 日 が 来 る 0 だ ろ ì か

ラ ン ۴ セ ル **並**なら べ て 歩る ٧١ た帰り道今でもかえみちいま 大事 な な探険記録

私 に は 袓 父 母 0 方 言 分 か 5 タネ が 故 郷 燱 Ž る 町 0 暗 号

黄 昏 時 グラデー シ 3 ン 0 赤 ٧ 青 空 は 私 ょ ŋ 描 画 が う ま

家 族 旅 行 ケ ン 力 ば か ŋ 0 毎 日 を 置 ٧١ て 帰 3 う 夏 0 日

週 末 に 寮 か ら帰 宅 お か Ż <u>)</u> 0 弟 0 声 疲 n を 溶 か す

> 出 水 中 -央高 等 学 校 年 江 崹 柊 弥

出 水 中 央 高 等 学 校 年 柏 原 陽 詩

出 水 中 -央高 等 学 校 年 米 尾 心 春

出 水 中 央 高 等 学 校 年 百 濹 渚 心

77 市 来農 芸 高 等 学 校 年 濵 田 優 真

県

<u>\f</u> 市 来農芸 高 等 学 校 年 満 永 美 羽

県

夏 休 み 好きな部活 に行きた ٧١ が 顧 問 が 嫌 で 進 ま な ٧١ 足

卵 か ら رکہ 化 L た ひ よこ 掌 i 11 ž な 鼓 動 そ っ ٧ 確 か む

日 盛 ŋ の 父と二人 の 温 室 が 赤 きト マ ١ で 賑 わ ٧١ 見 せ る

恋 の 奴 た め息 つこ ぼ れ ゅ < か < ħ た 本 音 君 が 紐 解 <

ヤ バ す ぎる 短 歌 難 L な め て た ょ 思 ٧١ つ か ず に 進 h だ 時 計

十八字さる矢哥葉したなでける思いてなずり近りが明言

和り

多た

都っ

美み

の

鳥

居

を

<

ぐり

見

える

の

は

き

n

٧١

な

海

にうつ

る

星

空

入 学 L 親 元 離 れ て 過ごす 日 Z 寂 l ٧١ 気 持 ち 上 書 き す る

大 会 で 緊張 に ょ ŋ 固 ま る手 飛 ば や 矢 を 見 て 3 ŧ 凍

ホ 夕 ル 飛 "ئہ 4 さく 多 < 等 間 隔 ス マ ホ 0 明 か ŋ を つ け な か っ た 日

昔 か 5 挨 拶し て た あ Ø 人 に 気 づ ٧١ て ŧ らえず 悲 L ٧١ دکہ る ż ۲

雨 0 日 に 前 髪うね る憂鬱 が 君 0 癖 み て クスッ ح 笶 ì

夏

祭

ŋ

あ

な

たに夢中この

気

持

ち

花

火と

ح

ŧ

に

散

ら

な

V

ょ

うに

ふるさとの騒がしい夏素数蝉森に消えゆく声と抜け殻のるさとの騒がしい夏素数蝉森に消えゆく声と抜け殻

秋風と一体となる赤トンボ我が町通り次へと前進あきかぜ いったい あか わ まちとお つぎ ぜんしん

県立市来農芸高等学校二年 中西 凜雄

立市来農芸高等学校三年 土川 柊子

県

立市来農芸高等学校三年 東 悠輝

県

県立串木野高等学校一年 楠生 莉音

県立串木野高等学校三年 楮山 悠輝

神村学園高等部一年 阿比留 光星

神村学園高等部一年 吉岡 真心

神村学園高等部二年 脇田 恵翔

神村学園高等部三年 宮持 美空

鹿児島情報高等学校二年 池田 きよら

県立明桜館高等学校二年 中馬 優梨

県立明桜館高等学校二年 寺田 月

玉 77 鹿 児 島 工 業 高 等 専 菛 学 校 年 金 子 大夢

<u>\f}</u> 鹿 児 島 工 業 高 等 専 菛 学 校 年 向 原 琉 晴

玉

曲 が ŋ 角 覗 き 込 む 先 通 学 路 + の 夏 ٧ 力 ゲ 口 ウ 0 壁

光 道 人 影 見 次 は 私 進 べ

る

消

Ż

る

届

け

て

ŧ

む

き

部 活 中ごき げ ん な な め 先 生 O ŧ げ ん ٧ る 0 は 私 の 役 目

夏 の タ 四 人 並 h で 歩 < 道 駅 の 放 送 発 車 0 合 図

۴ P 開 け 7 濡 れ た 12 に \neg お か Ż ŋ な ક い 私 0 気 持 ち セ 色に 変

帰 ŋ 道 友 ح 遊 ん だ 公 園 が 不 意 に 消 えさ ŋ 穴 あ < ジ

お じ ٧١ ち や 6 突 然 言 う な や ぎ 0 死 を 最 後 0 お わ か n L た か つ た

田 植 Ž 機 0 袓 父 0 隣 に 乗 せ 5 n て 田 植 Ž 終 わ ŋ 0 日 陰 0 ジ ュ 1 ス

僕 だ け 0 気 持 ち を 全 て 知 る ょ 'n に 背 に 受 H て ٧١ る セ 3 0 応 援

両 親 ^ 伝 Ż た ٧١ 言 葉 あ ふ ħ で る 手 紙 で ŧ 書こう か 迷 うこ 0 頃

佳 作

放 課 後 に 貴 方 0 青 春 盗 み 見 る 今こ 0 世 界 は た だ.. .š. た 9 だ け

思 ٧١ 出 す き み が 生 ま n た 感 動 を 我 が 家 0 記 念 日 八 月

火 曜 日 0 バ ۴ 0 部 活 は 坂 グ ゚ッ シ ュ 脱 最 下 位 坂 道 に 5 む

> 玉 立 鹿 児 島 工 業 高 等 専 菛 学 校三 年 諏 訪 袁 莉

空

県 立 薩 摩 中 央 高 等 学 校 年 蒲 谷 遥

立 Ш 内 商 工 高 等 学 校 年 荒 木 穏 琉

県

県 立 Ш 内 商 工 高 等 学 校 年 伊 集 院 清 楽

わ

る

県

立 Ш 内 商 工 高 等 学 校 年 林 茉 来

に Ш 賦 晴

の

県

立

内

商

工

高

等

学

校

年

句

斗

県 <u>\f</u> Ш 内 商 工 高 等 学 校 年 古 里 唯 羽

県 立 Ш 内 商 工 高 等 学 校 年 前 \blacksquare 亜 美

県 立 Ш 内 商 工 高 等 学 校 年 増 田 翔 太

県 <u>\f}.</u> 鹿 児 島 水 産 高 等 学 校 年 上 妻 未 . 羽

大 П 明 光学 袁 高 等 学 校 年 清 水 香 里 奈

県 77 市 来 農 芸 高 等 学 校 年 内 田 千 陽

<u>\f}.</u> 市 来農芸 高 等 学 校 年 柿 Ш 瑞 稀

県

宿 題 の シャ 1 ペ ン 持 てば 風鈴 が チリンと夏 の 涼 しき 運 . ڏنہ

農 実 習 横 列 に 田 植 えし 7 青 田 風 吹く わ が 校 舎 か

日 盛 りや 海水浴 に 出 か け ん ٧ 玄 関 出 れど泳 **(*** 気 ŧ 溶

暑い中牛と過ごす夏休み仲間といどむ全国大会

こしがあり出汁が美味しいうどんあり苦手なしいたけそれも良きかな県立

お は よう と声 か け る た び た け のこか?」 私 の 弟どこまで伸 びる? 県立市 来農芸高

貴方はね桜と共に舞い落ちた私と同じ片翼の天使

真っ 白 なき ħ ٧١ な 紙 にペ ンを 乗 せ 気づ ٧١ た ときは 手 が 汚 れて 3

六 限 目 睡 魔 に 襲 わ n 先 生 に質問 閳 か れ 寝言 で 返 す

何 ま 食べ た 会お た ٠ أ ٧١ 母に 誓 聞 ٧١ 别 か n n た て あ コ 0 口 ッ 日 か ケ ら夜な夜な恋 と答えたその晩 し趣あ メン る チカツな 相と 棒も ŋ

金 曜 日 放 課 後 遊 h だ夜七、 時家に 帰 ると 母 鬼 の 顏

ふとすると帰りたくなる徳之島みんなの笑顔が頭に浮かぶょとくのしま まがお あたま う

三年 間み h なで 目 指 L た 県 総 体み んなで泣 ٧١ た 思 ٧١ 出 の

場

所

県立市来農芸高等学校一年 鍛治屋 隼人

立市来農芸高等学校一年 下野 由希翔

県

立市来農芸高等学校一年 三宅 千翔

県

県立市来農芸高等学校二年 臼井 弾

県立串木野高等学校一年 川嵜 姫歌

等学

·校二年

佐

藤

蔵之介

県立串木野高等学校一年 田代 蘭々

県立串木野高等学校一年 宮本 虹香

県立串木野高等学校二年 猪之鼻 佑太

県立串木野高等学校三年 中島 はな

神村学園高等部一年 秋谷 結

神村学園高等部一年 麻生 唯珠

神村学園高等部一年 池上 結愛

村学園高等部一年 井手乃上 実来

神

馬 0 足 音 年 に 度 0 や ڐؙۮ؞ き め だ 歓 声響く 今年 ŧ 豊 作 だ

帰 ŋ 際 風 に な び ٧١ た 君 0 声 赤 v 実 は じ け 故 郷 は 染 ま ŋ

海 に 山 地 産 地 消 0 伊 作 田 は タ 日 が 摡 ŋ つ ŧ 感 動 0 町

夏 の 空 山 に 広 が る 夕 焼 け や 手 を 振 る 君 の 表か 情ぉ が 見 えな

声 響 < 豊 作 願 う せ っ べ ٧ べ 白 ٧١ 祭 法 被 泥 色 染 ま る

徳 之 島 十 五 で覚 悟 ٧١ ま 大 和 忘 n な ٧١ ż 友、 親、 地

光 射 す 照て Mる島 島 の 砂 り陽炎と 両 0 手 を 振 る 制 服 0 君

細 月 0 輪 郭 なぞ る 黒 ٧١ 手 に 歩 調 ۲ ゅ ħ る 君 の マ フラー

姿 勢、 礼 最 後 0 あ ٧١ ż つ 響 < 声 振 ŋ 返 る 力 コ 淚 ٧ 共に

今年 から 母 が 始 め た 家庭菜 園 収 穫 L て 言う わ っ ぜ 7 そ

暑 シー ŧ 日 ŀ の 敷 き家 お 昼 に 族 で 食べ 見 る 上 そう げ 3 め は < h ち は ょ 力 う が 座 抜 大 け きく る 夏 息 0 お す ۲ VI ず 生 ŧ n た 12 地

夕方 0 部 室 に 響 Ÿ 弦る 0 音 が 自 分 0 3 落 ち 着 か す

反 射 鏡 踊 3 水 田 満 天 の 星 ٧ 火 が 散 る鬼 火 焚

神村学園高等部一年 大保 愛音

神村学園高等部一年 川畑 日菜

村学園高等部一年 小薗 健生

神

村学園高等部一年 田中 悠鈴

神

神村学園高等部一年(富ケ原)優菜

神村学園高等部一年 豊 玲心

神村学園高等部一年 原田 実侑

神村学園高等部一年 毎床 みお

神村学園高等部一年 前原 夢奈

神村学園高等部一年 南新 琴美

神村学園高等部一年 米丸 瀬凪

村学園高等部二年 椛島 千和

村学園高等部二年 清水 悠夏

神

神

村学園高等部二年 東 汰樹

神

趣 味 園芸汗 流す父に差 ī 入 ħ つ ビー ル に 込 め た 母 の 愛情

汗 お ち る 監 督 か 5 の一声 が 僕 た ち み ん な を お ٧ L め

る

ば か ŋ 見て ٧١ る 今 日 Ø 散歩道宙 に浮 か **ڏ**ڏ. は 幾 つ の ひかり

下

あ

٧١ さつで人と交 わ ŋ 刻 ヤと 消 えて ٧١ < あ の 幼い じぶん

夏 の 夜家中広が る ぽ ん か ん 0 甘 ٧١ 香 ŋ が 鼻 に 吹き 込

猛 暑 の 日 サ ッ 力 1 終 わ ŋ 体 見て 日 や け を 見 つ け 夏 を感 じ る

後 悔 ۲ 宿 題 持っ て 学 校 ^ 朝 で 終 わ らす 夏 の 宿 題

遠 す ぎる ほ ん ٧ は 近 < に ٧١ る 0 に ね 横 顏 見ることし か できなく て

女子 ょ ŋ ŧ 触され れ ず び び る 先 生が `一人恥 じ か < 昆 虫 集 め

蝉 時 雨 響 Ź 龍 門 司 坂 に は 古 人の 面 影今も 残 るる

海岸がいがん で 寝ね んそべ る 自分と桜島夕暮 ñ 時だされ 同じ 肌 他 だいろ

٧١ つ 0 日 ŧ 皆 を 見 守 る 桜 島 そ 0 あ た た か さ は 鹿 児 島 の 母

満 点 0 宇 宙ら 0 星 を 待 ち わ び て 夏草 香っ た 夏 夜 Ø 鉄

夜

の

海

耳

を

<

す

1

る

波

0

音

2

0

波

を

凪

٧١

で

ゅ

神 村学園 高 等 部 年 吉 永 力 輝

神 村 学 遠 高 等 部 三 年 上 白 石 優 雅

鹿 児 島 情 報 高 等 学 校 年 土 Ш 寧 Þ

鹿 児 島 情 報 高 等 学 校二 徳 丸 愛

県 立 明 桜 館 高 等 学 校二 年 神 野 翔 蒼

県 立 明 桜 館 高 等 学 校二 原 田 優 空

県 <u>\f</u> 明 桜 館 高 等 学 校二 福 地 琉 生

県 立 明 桜 館 高 等 学 ·校 二 三 島 な 0 樹

県 立 明 桜 館 高 等 学 校三 木下 徳

玉 <u>\f}.</u> 鹿 児 島 工 業 高 等 専 菛 学 校 年 樗 木 嵩 大

玉 鹿 児 島 工 業 高 等 専 菛 学 校 年 北 住 直 大

玉 立 鹿 児 島 工 業 高 等 専 菛 学 校 年 小 森 聖 己

玉 77 鹿 児 島 工 業 高 等 専 菛 学 校 年 田 上 舞 宇

<u>\f</u> 鹿 児 島 工 業 高 等 専 菛 学 校 年 野 妻 奏太

玉

川内の の 大 綱 31 の 激 l さや 暴 n る 海 の 波

のごと

朱 塗 0 本 殿 指 か け 子 後 姿 恴 我 が 国 宝

母

語

る

故

郷

0

あ

ば

ら

や

過

去

0

様

当

時

を

語

る

寂

l

げ

な

顏

ŋ

目

L

る

0

ろ

露 見

朝 の 衣 ŧ ۲ ٧١ L 若 稲 群 金 剛 石 0 稲 穂 ۲ 紛

関 吉 0 流 n る 水 音 語 ŋ 継 **〈*** 島 津 0 革 新 祖 父 0 遊 び 場

澄 h だ 空 強 ٧١ 差 み 駅 に 袓

長

〈*

つ

٧

手

の

ひ

5

ì

ま

る

泥

0

中

助

け

る

父

の

手

騒

が

L

VI

田

植 Ž

日

L

に

汗

に

じ

降 ŋ る ٧ 白 ٧١ 夏雲なつぐも

高 き 山 日 が 沈 む 頃 に 帰 る 僕 家 族 み h な で 残 す 定

飛 び 立 て ば 僕 ら の 道 0 背 中 押 す 家 族 の ょ ì な 赤 VI 嘳 煙

を 開 け て 夏 0 風 待 たたみうえ 線 香 0 に お ٧١ 思

٧١

出

を

0

せ

て

P

パ ンこ ね て 働 < 母 の 背 中 に は ほ ん 0 ŋ パ ン 0 香 ŋ た だ ょ う

新 た な る 期 待 で 自 転 車こぐ 道 を 右 折 を す る ٧ 廃 車 ٧ な n ŋ

停 留 所 そ ば 0 田 ん ぼ 0 力 二 追 Ż ば バ ス ۲ 緒 に つ ٧١ て < る 雨

袓 父 母 家 に 巣 作 る つ ば め 枝 運 び 荒 n た 庭木 ٧ 春 の 訪 n

> 玉 立 鹿 児 島 工 業 高 等 専 菛 学 校 年 原 田

> > 貫

太

玉 立 鹿 児 島 工 業 高 等 専 門 学 校 年 大 津 暖 人

玉 立 鹿 児 島 工 業 高 等 専 門 学 校 年 亀 澤 優 月

玉 立 鹿 児 島 工 業 高 等 専 菛 学 校 二年 大 德 慶

玉 立 鹿 児 島 工 業 高 等 専 門 学 校二 年 中 Ш 智 寬

玉 立 鹿 児 島 工 業 高 等 専 門 学 校二 年 古 江 琉 暉

玉 立 鹿 児 島 工 業 高 等 専 門 学 校三 年 牛 野 恭 介

玉 立 鹿 児 島 工 業 高 等 専 門 学 校三 年 坂 元 円

造

玉 立 鹿 児 島 工 業 高 等 専 門 学 校三 年 春 田 悠 元

玉 <u>\f}.</u> 鹿 児 島 工 業 高 等 専 門 学 校三 年 吉 村 野 Þ

花

県 Ш 内 商 工 高 等 学 校 年 大 쥙 翔

立 Ш 内 商 工 高 等 学 校 年 大 亚 健 輔

県

県 77 Ш 内 商 工 高 等 学 校 年 出 \blacksquare 愛 莉

県 <u>\f}.</u> Ш 内 商 工 高 等 学 校 年 中 野 七 花

図 書館で 鉛筆カリカリ宿題中気づけば 明日 は 九月一 日

母にらみ ત્ડે て寝 ĺ 朝きて机みて一人でく P む愛情 向むこ 弁当

戻っ

きたねとな

ŋ

0

ば あ ちゃ

ん 目

を 細

む

杖

0

うに線香

0

大海 を 切 ŋ 拓きながら進 4 ゅ Ź 水平線に 海 Ø 男や

春風に誘わ れくぐっ た校門を感謝の気持ちでくぐる三年

> 県 <u>\frac{1}{12}</u> Щ 内商 工 高等学校 年 濵 田 健 友

たゆたう 県 <u>√</u> Ш 内 商 工 高 等学 校 年 松 井 彩 羽

県 <u>\f</u> ·鹿児島-水 産 高等学 校 年 鮫 島 耕児

県 <u>√</u> 並鹿児島-水 産 高等学 校 年 Щ 原 隆 正

<u>\f</u> 鹿児島水産高等学校三年 徳 田 幸貴

県

一般の部

優秀賞・市長賞・県歌人協会賞・選者賞・教育長賞・南日本新聞社賞

優秀賞】

族があらそ ひ た ŋ Ĺ 田 や 畑 も担 ひ 手 は な l 過 疎 に荒 れ ゅ

薩摩川 内 市 別 府 初 美

市長賞

生 れ し地 を 離れ てすでに半世紀亡母の 声する更地 の庭 に

いちき串 木野市 溜池 とよ子

県歌人協会賞

螢光燈ぼ んやりとして光りをり遺品整 理を終えたる家に

鹿児島 市 飯 星 サチ

選者賞

満たされ ぬけふを引き連 れ床に 入る枕に沁み入 る夜汽 車の 汽笛

鹿児島 市 松尾 幹子

教育長賞

窓際で木洩れ日浴びてうとうとと睡魔と戦う午後 の数 学

国立鹿児島工業 高等専 '門学校四 年 塚 原 大和

南日本新聞社賞

廃業の店屋の壁の崑ちゃ んが 才口 ナミンCを今も 勧 め

霧島市 児 玉 久

る

特 選

口 広 げ 親 の えさを待つつ ば くら め ٠Ś٠ とガ サ地 区 の子ら の 顏 思

初盆 一の宵にい 聞こえる盆踊り 人 ŧ 御霊 正も故郷に こきょう 帰 る

た め 息 の 長 きト ン ネ ル ぬ け L 子 は 眩 l ٧١ ラ ム ネごく ŋ 飲 み ほ す

生ぃ ŧ た ٧١ ٧ 生ぃ 一きた ٧١ ٧ 言いう 君 が 居ぃ る果 か な < 消 えし 妻 ح の ラ 1

カ ッ プ 麺 酒 ۲ 煙 の 独 ŋ 部 屋 想 ٧١ 詰 まっ た 4 包 届

古 民 家 の 佇たせ İ ٧١ 背 に 勝 負 掛 け 駠 染 の 友と 囲 む 囲い 基ご の 座

さ ら さら بح 魚 の ょ ì に 泳 ٧١ で る そう め h た ち を お 口 ^ D Æ I $^{\prime\prime}$ **V** رة، Ē

五 右 衛 門 風呂 に ŧ ì ŧ ì 湯 気 立 ち 浴 ڏڙ. 母 0 \neg 極 楽 • 極 楽 あ の 声 ・聴こ ゅ る

叶

دکہ

な

ら

故

郷

0

祭

'n

0

な

か

に

٧١

て

訛

きき

つ

つ

煮

X

食みたし

< ぼ ま せ て 水 を 掬 ^ る 掌に 母に 貰 ひ l 指 輪 光 ŋ ぬ

天 の 川 の 億 光年 0 川 幅 を 飛 機 は た ち ま ち 漕 ぎ 渡 ŋ ゅ

半 雨 夏 は 生 ふ 0 v そ ŋ パ ٤ 群 越 る に る 灯 山 あ ひ 明 に か 風 0 乗 見 客 急 0 り家まで 待 つ 無 人

6

ワ

1

1

L

台

0

ŋ

た

五

分

駅

1 ちき串 木 野 市 塰 泊 昭子

5 き 串 木 野 市 梅 北 成 文

1

ち き 串 木 野 市 蛯 原 尚 子

11

ち き 串 木 野 市 相 良 洋

1

5 き串 木 野 市 新 町 正

1

ちき串 木 野 市 渡 邉 基 司

11

神 村学 袁 専 修 学校 作 業 療法学科 年 岡 元

> 夏 葉

鹿児島 市 新 迫 加 代

鹿 児 島 市 外 袁 眞 佐 . 子

鹿 児 島 市 Щ 下 順 子

霧 島 市 玉 Ш 7 リ 子

島 市 松 永 由 美 子

霧

毛 郡 屋 久 島 町 大 牟 田 壮 郎

熊

自 治 会 Ø 河 川 清 掃 に 外つ 国 0 若きをみなも 訳 なく 混 じ る

恐 龍 ٧ 鬼 は どっ ち が 強 ٧١ か ٧ 問 は るるタベ 児 を 膝 に 抱

木 野 は 海 0 明 か る さ 羽 島 な る齊の 歌 碑 は 潮 騒 の な か

危険

幼

き

日

4

川

で

遊

h

だ

思

٧١

出

ŧ

今

は

ح

立

て

札

立

ち

て

串

生 前 0 高 齢 認 知 の 母 0 事 受 け 止 め 6 ħ ず 言 葉も 足らず

愛 猫 が 足 に ŧ た n る 熱 帯 夜 工 P コ ン 朝 ŧ で 消 さ ず É 眠 る

開 聞 は 雨 雲 脱 じぎて 山 0 端 に 明 日 0 青 空 約 l て を ŋ ぬ

入 選

疎 開 場所 羽 島 の 浜 0 祖 母 0 家海蒼々と 昔 ŧ 現い 代まも

頏 張 つ て を た め 5 っ た ま ŧ 電 話 越 し病 ٧١ Ø 郷と 友も ٧ 同 じ 月見る

亡兄 なきあに は 紡っ_む ぐ恋 な < 戦 場 ^ 灯が りつ け た ٧١ つ

ぼ

み

の

桜

芋 0 葉 の 朝 露集 め 墨 を 磨 る 君 ^ の 想 ٧١ 短 册 にこ め

麦 0 穂 を 焼 きて 収 穫 な す 記 燱 白 ひ か す か に 麦 秋 0 頃

魚 屋 に 並 . " 刺 身 は ふ るさ ۲ 0 漁ぶ 船ね が 釣 ŋ 来 し喜望峰 0 マ グロ

> 薩 摩 Ш 内 市 今村 え たり子

薩 摩 Ш 内 市 新 屋 純 子

薩 摩 Ш 内 市 泊 勝 哉

日 置 市 草 原 桐 子

日 置 市 高 橋 アツ子

日 置 市 西 袁 佳 子

南 九 州 市 早 Щ 日 リ 子

1 ちき串 木 野 市 上 中 イクコ

1 、ちき串 木 野 市 後 潟 富 美子

1 5 き串 木 野 市 上 栫 美 津

11 5 き串 木 野 市 久 保 佳 子

、ちき串 木 野 市 火 野 坂 幸子

1

姶良 市 塩 満 曉 洋

久々に歸れ り來たりし Z, る里に「テッペンカケタカア」 の なつ かしき声

散 髮 の 整 一ふる ほ ۲, の 髮 の なく ・母ちゃ h 床 屋 にクレー マー ۲ な る

雪 0 夜を文鳥そっょ と 掌 て つつ む 鶏 卵 ほど の温 さとおも

連 休 に 我家のなら ひ と国 旗 掲ぐ 道 行く 児 5 が 맥 ぶ「ニッ ポ ン ح

さ み しくてひ とり見にゆ Ź 海 0 あ り夕陽を吞みこむ東シナ海

振 袖 を成人式に着 たかりき黙し ほ ろ ほ ろ 鉛 単を 削

待 ち わ び し年に 度の記念日 か 赤い カー ネー ション亡妻へ献ぐる

朽 ち果 てし 夫の 生 家に佇みて義父の長談 義 懐しみを

ま た一つ美しき青 消 えてゆ く国 分平野よふ るきと の 田 ょ

石 畳 0 正 方形 É 甦 るケンケンパッパ ケンケンケンパ

3 夕 3 夕 ۲ 杖に た よりて歩く母せ からし かっ た 昔 は もうなく

故 郷 0 田 畑 荒 ħ 果 て猪 の 親 子 が 楽 L む山 とな ŋ た

亡 き 夫 が 晚 酌 0 た び 好 み た る屋 一久の **黍魚子一パ** ツ ク買ふ

閉 校 ۲ なり L 母校 の大楠 に浮か . دُک 顏 顏 遠 ŧ 日 0 夢

> 姶良郡湧 水 町 坂 元

鹿 児 島 市 油 田 重 隆

鹿 児 島 市 今村 圭子

児島 市 杉 本 葉子

鹿

鹿 児 島 市 田 \Box 涼 子

鹿 児 島 市 田 中 智 恵子

鹿 児 島 市 辻 優

鹿 児 島 市 Щ 口 あ ざ子

霧島 市 上 之園 通 子

霧島 市 \Box 町 円 子

霧 島 市 武 安 諭

霧 島 市 前 田 良 文

霧 島 市 Ш \Box サ キ

薩 摩 Ш 内 市 上 薗

猛

新 幹 線 は 無機質の 音を放ちつつ二十年変はらずト ンネ i に 消 ゅ

父 母 が 繋い だ 屋 敷 Ø 石 の 門 移さ ħ て立 っ 蘇 鉄 の ۲ な

育 苗 の 苗 箱 広 げ 田 植 ゑ 待 つ 4 ・さき 緑に 薫 風 渡

夏 の 陽 に 紫 柑 の 笳 子 が 輝 や け ŋ 夫 の 力 作 双 の 手に受く

渡 る 人渡 りし 人の 黒き影行き合ふ 橋よ今宵大花

野 ŧ 山 ŧ みん な お前をまっ て ٧١ る 父 Ø 手 紙 は ふるさと映す

住 む 人の 絶えて久し ٧١ 古 里 Ø さ庭に真紅 0 カ ン ナ 淋 L ŧ

七十路を越い ゆるも も夫と稲作っ を後と 五年か な畦草を

刈

る

背 を 丸 め 鏡 に写る 亡き母 の姿を宿 す我に

あ きら め の 眸で 馬 田掻牛 少年 0 日 0 遠き想 ٧١ 出

> 薩 摩 Ш 内 市 嶋 﨑 瞳

摩 Ш 内 市 塚 元 恵 子

薩

摩 Ш 内 市 原 田 知 恵子

薩

摩 Ш 内 市 堀 段 能 婦 子

薩

薩 摩 Ш 内 市 Щ 之 内 恵子

市 丸 子

曽 於 脇 洋

日 置 市 荻 朝 子

日 置 市 益 満 和 子

東 京 都 世 田 谷 区 太 田 まゆみ

埼 玉 県 所 沢 市 満 薗 凉

留学生の部

空気のようだった自由がなくなって息ができない香港に栄光あれ

神村学園専修学校理学療法学科一年(CHIN CELIA S

スリランカ国旗はためく母の愛家族の平和思い出す夏

神村学園専修学校日本語学科二年(KODIKARA ARACHCHILAGE DILKI PUNYAJA) コディカラ アラッチラゲ ディルキ ブンヤジャ

夏休み赤い花咲く校庭でノートに貼ったらちょうちょになった

神村学園専修学校日本語学科二年(DO THIEN THANH)ド ティエンタン

夕飯に父も手伝う母のカレーまだかなまだかな匂いを食べる

神村学園専修学校日本語学科二年(NAW MI MI ZAW)

-49-

応募校 計六十二校

※ 学市 校町 は村 は 小五 中十 高音 の順 順 に て 撂

 \bigcirc 市市立 幸 田 田 小 小 学 校

ち水水水口口佐佐久久水良 き中市市明明市市根根町郡 光光立 学学大 園 園 口 高 中中 等学央 学校中 学

 \bigcirc 鶴

 \bigcirc 串央立 木 高 校園

県県神神いいいいいいいいいいいい出出出大大伊伊阿阿湧 ち to to 5 5 ち 5 ち 5 き き き き き き き き き 串串串串串串串串串 串 串 木 木木木木木 木木木 芸等等野野野野野野野野野野野野野野野 $\overrightarrow{\Lambda}$ $\overrightarrow{\Lambda}$ $\overrightarrow{\Lambda}$ 立立 立立 立立 羽串串川市荒生旭羽 照串 木木上来川福小島島木 野野小小小小学小小野 西中学学学学校学学小 校校中学校校校校 校校学 学 校

ち ち 市 き き 木 木 立 1 校 中中 学 学

> 大 神神神神神神 村 村 村 学学学 学学学 袁 袁 袁 袁 袁 袁 専 専 専 専 専 高 修 修修 修 修 学学学学部 校校校校校 学学科科 科 科

与 伊 伊 論仙仙島 町町町郡 与 犬 馬 論田根 中布小 学中学 校学校 校

児 児

県 鹿 鹿 鹿 鹿 鹿 鹿 鹿 児 立 児児児児児児児 島島島 島島島 島 島 島 桜市市市市市市市市立立立 報館 立立立立 立 立立立 高 福城清坂黒 伊本郡 等 平西水元神敷城山 学学中中中中台小小 校

 \bigcirc 屋

情

高

等

ち

き

木

立

校

 \bigcirc 立島屋 郡鹿市市市島明 <u>\(\frac{1}{2} \)</u> 西 原 台 小 学

中中熊国霧鹿鹿鹿 町町 児 立立 島 中星 工 種原 子 小 高 中学 等 学校 車 菛

校

校

 \bigcirc 長志志県薩 <u>\f</u> 有 明 中 学 校

 \bigcirc 日長 島 島 立 巣 中 学

校

 \bigcirc

日 日 日 日 置置置置置 立立立立 東和鶴伊 市田丸作 来小小小 中学学学 学校校校 校

立崎 島 水 産 高 等 学 校

枕

大 市市町町児 立 根 占 中 校

 \bigcirc

 \bigcirc 立. 大 丸 小 学 校

立 つ摩 薩 央 宮 高 之 等城 学中 校学 校

 \bigcirc

布布立摩摩摩摩摩 市市内内内内内摩町 商市市市市市中立 校

鹿市市市市市町町志志川川川川川 工 立立 立立 高 平平副川 成佐田内 等 学中東小小 校学小学学 校学校校

萬造寺 斉 (まんぞうじひとし) 明治19年 (1886) 羽島生れ。

明治38年(1905)18歳の時、第七高等学校に入学。与謝野晶子・寛に師事し、『明星』の歌人として「七高に萬造寺斉あり」といわれる。

明治41年(1908)21歳のとき、東京帝国大学英文科に入学。その後、与謝野寛の 門下生になる。この時石川啄木、高村光太郎、北原白秋など多くの歌人・詩人と交流を 行う。

東京大学在学中に『明星』が廃刊になり、森鴎外を中心として『すばる』が発刊される。 大正3年(1914)独力で『我等』『街道』を刊行。京都に拠点を置き活躍した。戦後、 歌集『萬造寺斉選集』10巻が刊行される。

大正7年(1918)31歳のときに郷里に帰る。

昭和32年(1957)7月9日、療養所で70歳で亡くなる。

同年11月、串木野市主催、鹿児島県後援の文学葬が母校である羽島小学校で行われる。 昭和35年(1960)3月、羽島崎神社境内に歌碑が建設された。

歌碑には、萬造寺斉の歌集から作家である佐藤春夫が選んで新村出博士が揮毫した3首の歌(※)と、友人である矢野峰人による歌碑を建てたいきさつが刻んである。



歌碑と入賞者の短歌プレート



萬造寺 斉 生誕の地

×

毠

郷

歌

ふ Z, 行 る る か き 生 さ ま ۲ ٧ II て や 0 L ふ 浜 だ 海 悩 ま た 0 の み 南 砂 た Ø V 0 VI び び 原 如 海 た 踏 4 l き 辺 づ 若 ŧ 遠 ŧ ま 石 遠 原 ŧ き 振 む Z, 日 日 き な 思 世 る す き て き 0 ٧ 7 か ば